

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	カーボン・オフセット及びオフセット・クレジット(J-VER)制度の推進事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室		室長 上田康治		
会計区分	一般会計 エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		施策名	1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第3号 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第2項		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画 低炭素社会づくり行動計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	カーボン・オフセット(日常生活や事業活動に伴う温室効果ガス排出量を、他の場所で行われる排出削減・吸収活動により埋め合わせる)の普及促進を図るとともに、カーボン・オフセットに用いられる排出削減・吸収量を認証するオフセット・クレジット(J-VER)制度の運営・普及により、地球温暖化対策と地域活性化等の同時実現を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	カーボン・オフセットに関する相談支援や情報提供等を行うカーボン・オフセットフォーラムを、昨年度に引き続き、運営する。また、信頼性のあるカーボン・オフセット推進のためにガイドライン等を整備するとともに、排出量を全量オフセットするカーボン・ニュートラルの認証基準を作成し先進事例発掘事業を実施するとともに、カーボン・オフセットについても、地域の特色を活かした取組や国民・事業者への普及効果の高い取組等を創出するための事業を実施する。国内の排出削減・吸収量をカーボン・オフセットに用いるクレジットとして認証する「オフセット・クレジット(J-VER)制度」について、J-VERの認証や制度改正、登録簿の管理等の制度運営を行うと共に、本制度の活用を促進するため、全国説明会の開催等を通じた広報やJ-VER認証に係る手続きの効率化を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	10	—	△119	119		
		計	60	146	70	1,521	1,107	
	執行額	60	146	62				
	執行率(%)	100	100	86				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	カーボン・オフセット取組件数×1件あたりの平均オフセット量	成果実績	t-CO2	57,948	225,771	230,860		
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	カーボン・オフセット取組件数	活動実績	件	439	273	238	—	
		(当初見込み)	(累計)	(300)	(250)			
単位当たりコスト	794,118円/件		算出根拠	予算額(189百万円) ÷ 平成22年度のカーボン・オフセット取組件数(238件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委員等旅費	0	1	カーボン・オフセット・J-VER制度の普及にかかる各種出張費用の増				
	環境保全調査費	0	4	J-VERプロジェクト事業者向け支援業務における申請書類整理・案件管理等にかかる派遣職員費用の増				
	環境保全調査等委託費	152	102	J-VERプロジェクト事業者向け支援業務効率化による減				
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	1250	1,000	J-VERプロジェクト事業者向け支援業務効率化による減				
	計	1,402	1,107					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	適切に執行している。我が国の地球温暖化対策の状況の進捗を踏まえつつ、事業内容の改善・見直しを実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容で重複しているもの等について精査し、費用対効果を得られるような事業実施に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	人件費や出張回数等を見直し、重複した事業について精査し必要最低限の予算となるよう、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
62百万円

カーボン・オフセット推進事業

【内容】

- ・カーボン・オフセット動向調査及び情報提供・支援
- ・オフセット・クレジット(J-VÉR)制度の運営
- ・カーボン・オフセットモデル事業計画設計調査

一般競争(総合評価)・委

A 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
58百万円

【業務内容】

- ・カーボン・オフセットフォーラムの支援
- ・カーボン・オフセットのガイドライン、認証基準類の策定、見直し
- ・カーボン・オフセットに用いられるクレジットに係る調査検討等

外注費

C. 民間企業等(10機関)
20百万円

【業務内容】

- ・カーボン・オフセットモデル事業実施

一般競争・委託

B 日本通運(株)
4百万円

【業務内容】

- ・日英ワークショップの開催

外注費

D. (社)海外環境協力センター
3百万円

【業務内容】

- ・カーボン・オフセットの動向に係る英国での調査業務実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		29			
業務費	旅費、会議費、謝金	21			
一般管理費		5			
消費税		3			
計		58	計		0
B. 日本通運(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		0			
業務費	会議費、謝金、翻訳費	3			
一般管理費		1			
消費税		0			
計		4	計		0
C.民間企業等(10機関)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外注費	日本通運(株)	2			
計		2	計		0
D.(社)海外環境協力センター			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外注費	(社)海外環境協力センター	3			
計		3	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	・カーボン・オフセットフォーラムの支援 ・カーボン・オフセットのガイドライン、認証基準類の策定、見直し ・カーボン・オフセットに用いられるクレジットに係る調査検討等	58	1	98%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本通運	・日英ワークショップの開催	4	4	58%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本通運(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
2	イトーキ(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
3	住友スリーエム(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
4	大成建設(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
5	住友商事マシネックス(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
6	(株)ローソン	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
7	(株)スーパーホテル	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
8	南アルプス市	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
9	横浜市	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		
10	インフォコム(株)	・カーボン・オフセットモデル事業実施	2		

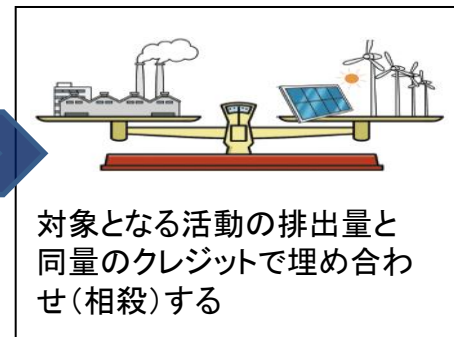
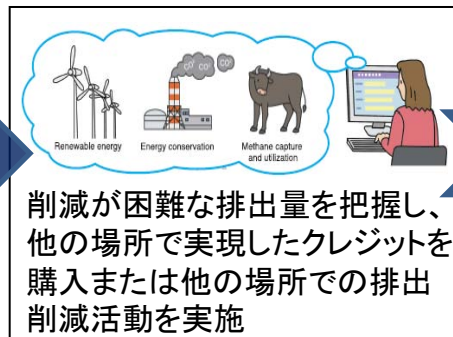
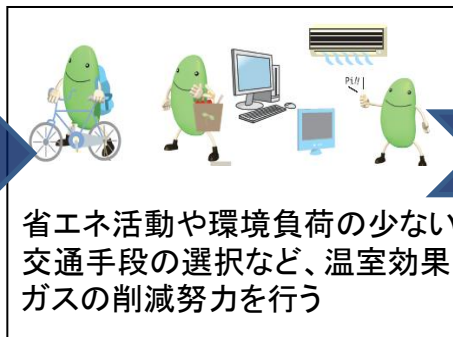
D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)海外環境協力センター	・カーボン・オフセットの動向に係る英国での調査業務実施	3		

カーボン・オフセット及びオフセット・クレジット(J-VER)制度の推進事業

＜カーボン・オフセット＞

市民・企業等が、自身の温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない部分を、他の場所の削減・吸収量(クレジット等)で埋め合わせる



事業概要

適切なカーボン・オフセットの普及

- ・ カーボン・オフセットに関する相談、認証取得支援
- ・ カーボン・オフセットEXPO(マッチングイベント)などを通じ、環境先進企業と取組事業者や地方自治体等、様々な取組主体との連携を通じた消費者への理解浸透拡大
- ・ 会議イベントオフセット等、重点取組分野での普及促進
- ・ カーボン・ニュートラル認証制度の運営や試行事業を通じた、制度の適切な普及

信頼性の高いクレジット(J-VER)の創出

- ・ オフセット・クレジット(J-VER)制度※の運営 (J-VER認証、新規プロジェクト種類の承認等)
- ・ J-VERプロジェクト実施者への支援 (認証プロセス支援、協議会等を通じた地方マッチング支援)

※J-VER制度 [Japan-Verified Emission Reduction]
国内のプロジェクトによる温室効果ガスの排出削減・吸収量を、オフセットに用いるクレジット(J-VER)として認証する制度。ISOに準拠した形で2008年11月よりスタート。

J-VER制度を活用したカーボン・オフセットの取組促進を通じ、京都議定書や中長期目標の達成に貢献するとともに、中小企業や農林分野を含めた国内投資の促進、雇用促進につなげ、地域活性化に寄与